



国立研究開発法人
国立国際医療研究センター

National Center for Global Health and Medicine

国府台

発行人 〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立国際医療研究センター国府台病院長 青柳 信嘉
TEL:047(372)3501 FAX:047(372)1858



2020. 11月

第45号

〔里見公園の紅葉〕

いつの間にか季節もうつろい、里見公園も秋の装いになりました。

目次

◇特集：肝炎ウィルスから学ぶ抗体・PCR検査	2
◇診療科のご案内	3
◇職場紹介「中央検査部」	4
◇地域医療連携病院のご紹介	5
◇つくしんぼ保育園の行事	6
◇院内学級 新校舎のご報告	6
◇栄養一口メモ	7
◇編集だより	7
◇外来担当医表	8



2020年もそろそろ終わりに近づきました。本来ならオリンピック等盛り上がるはずの年が、新型コロナウイルス感染症(COVID19)の話題ばかりとなりました。

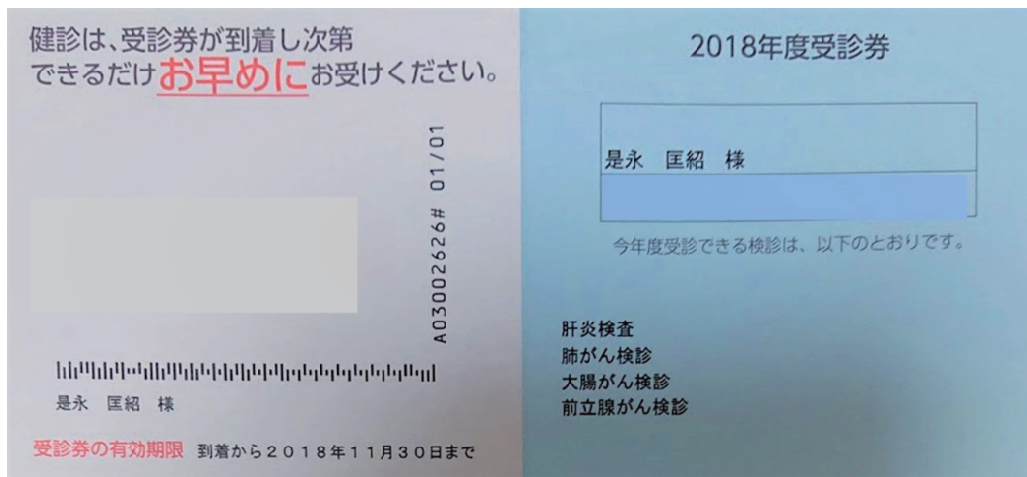
さて自分が専門医にしている「肝臓」にもウイルスが感染することがあるのをご存じでしょうか？ 肝臓といえば「お酒の飲みすぎ」が原因と思われるかもしれませんが、「肝がん」の60%にB型肝炎ウイルス(HBV),C型肝炎ウイルス(HCV)が感染しており、年間2.5万人以上が、我が国ではなくなっており、COVID19のその人数より多いのです。

診断方法はすでに確立しており、HBs抗原、HCV抗体という血液検査で初めてわかります。抗原陽性＝現在感染していることを示しますが、「抗体陽性」とはどのような印象がありますでしょうか？ テレビ等でも「抗体陽性＝免疫がある」と良く報道され、「抗体があるので今後感染しない・・・」というイメージがあるかもしれませんが、本当でしょうか？

まず抗体陽性は「感染したことがある」を示します。測定された抗体が、感染防御できるか(中和抗体)どうかは、ウイルスの種類や検査方法によって異なります。HCV抗体陽性は中和抗体ではなく、「感染した証拠」にしか過ぎず、現在ウイルスが存在するかは分かりません。陽性と判定されたかたは、これも話題の「PCR検査」を行い、HCV感染しているかどうかを調べることになります。近年、HCVは経口抗ウイルス薬が使用され、殆どがウイルス排除に成功しますが、抗体は終生陽性なのです。ですので、抗体陽性だけでは、「現在感染しているか」を判定できないこと、「2度と感染しないか」を安易に判断できないことを忘れないで下さればと思います。(COVID19抗体が中和抗体の作用が示しているかは、まだ明らかにされていません)

またPCR検査ですが、ご存じの様に非常に感度の良い検査で「陽性」であれば

図



(市川市から届いた肝炎ウイルス検査受診券・・・がん検診と一緒に一回だけ受検可能です)

「感染している」と言えるでしょう。その一方で、採取した検体に、「微量のウイルス」が存在しなければ検出することはできません。「陰性が陽性に・・・」という報道もありましたが、HBV、HCVに使用されるPCR検査の結果は「陰性」ではなく「検出せず」と返却されます。あくまで「検体にいませんでした」という意味で、何個も検体を提出すれば、一つぐらい陽性になることを否定できないのです。（COVID19はPCR検査が診断の主となっていますので「陰性＝検出しなかっただけ」という考えで行動して欲しいものです）

国府台病院だけでなく、多くの病院では入院・手術前に肝炎ウイルス検査を行っていますので、必ず結果を聞いてくだされば幸いです。また市川市では、がん検診ともにこれまで肝炎ウイルス検査を受けたことのないかたには受診券（図）が届きます。HBV、HCVは血液が主な感染経路で、新型コロナウイルスの様に、「3密」になろうが食事を一緒にしても感染することはなく、一生に1回は受けて欲しい検査です。



診療科のご案内

～神経内科～

神経内科診療科長 竹内 壮介

令和の神経内科考 2020年秋

神経内科診療はいくつかの状況situationに分けられる。神経疾患症例の経過に関わることは共通するのだけれど、頭痛やてんかんの様なcommon disease診療、多発性硬化症・筋萎縮性側索硬化症・重症筋無力症のように稀少で専門性の高い疾患、パーキンソン病そしてdementiaなど高齢化により最早稀ではなくなった疾患・・・診療の場も外来・入院・在宅・長期療養と巡ってゆく。想うのは、どれも継続してゆくには地域の医家や生活支援との協働が必須であること。市川市人口49万に神経内科専門医は19名にすぎない。

時代も変遷した。脳卒中診療では、早く・見落とさず・効率を重視するアルゴリズムが席卷し、救急科や脳神経外科とのチームによる急性期診療からリハビリテーションや回復期連携へと流（さ）れ、個々の症例の多様性を掘り下げる時間も経過を透して診る場も圧縮される。

神経内科医のもう一つの役割に、原因が判からず治療どころか診断も与えられずにいる「迷える神経疾患症例」に応ずるnicheなsolution工房的診療がある。此の潜在するニーズはDPC診療では抑々想定されてをらず、大学病院ですら標準化と採算性を求められる近年では肩身を狭くしながら続けられているが、神経内科医の原点は其処に在る。

されど、救急診療やクリニカルパス入院と探索・解析的診療では時間スケールが異なり、common diseaseとrareでspecificな神経筋疾患や社会と共に高齢化するneurocognitive diseaseでは医師の担う役割も違ってくる。循環器健診とCCUは異なる場で担われ、大学病院で救急診療やpandemic対応が難しいやうに。

かつて精神神経センターであった国府台病院は、2008年のrepositionにより、なにを担うか其の立ち位置が問われているのであらう。今年度、国府台病院の神経内科は、統合内科内に籍を置き、医長（科長）1名とローテートレジデント1名で創めています。使命を想いつつ、バランスのとれた診療を築いてゆきたい。

中央検査部は検体検査業務（検体検査室・病理検査室・輸血検査室・細菌検査室）、生理機能検査業務、採血業務を主にを行っています。総勢27名のスタッフが365日24時間体制で検査を行っています。

***検体検査室** 採血室や病棟で採取した血液・尿・便などの検体は、主にこの部屋で分析され結果が報告されています。また、当院ではSRLによる施設内の受託検体検査室（ブランチャラボ）として運営されています。



検体検査室

***病理検査室** 患者さんから採取した組織や細胞などの検査材料から標本を作製し、病理診断を行なっています。手術室で採取された組織等を迅速に診断する術中迅速診断も行っています。



病理検査室

***輸血検査室** 安全な輸血が行えるよう、血液型検査や交差適合試験を行っています。11月からは新しく自動輸血検査機器が導入され、更に安全で迅速な検査を提供することが可能となります。



輸血・細菌検査室

***細菌検査室** 患者さんから採取した検査材料に含まれる病原菌を調べ、どんな薬が効くか（薬剤感受性試験）を検査しています。近年問題になっている耐性菌を増やさないためにも大切な検査です。また、インフルエンザやノロウイルスなどの検査も行っています。

***生理機能検査室** 心電図検査・脳波検査・呼吸機能検査・超音波検査などの生体検査を行っています。夜間、寝ている間の脳波を記録する終夜睡眠ポリグラフ検査（PSG検査）も行っています。



生理機能検査室

***採血室** 看護部と協力して運営しています。検査部全員で採血業務を担当し待ち時間を短縮出来るよう努めています。



採血室

検査部では各部屋の担当業務の他、糖尿病教室・栄養サポートチーム・院内感染対策チームなどにも積極的に参加しています。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い生理検査室では部屋の換気や、一患者ごとのベッドや機器の清掃などの感染対策を行いコロナ禍でも患者さんが安心して検査を受けられるよう努めています。細菌検査室では5月より新型コロナウイルスの迅速検査（LAMP法）を導入しました。細菌検査室担当の技師だけでなく、日当直を担当する技師全てがトレーニングを行い、夜間休日にも検査に対応できる体制を整え実施しています。

今後も迅速で正確な検査、快適な医療サービスを提供できるよう努めてまいりますので引き続き宜しくお願いいたします。

地域医療連携病院のご紹介

いちかわ内科脳神経内科 院長 伊藤 敬志



当院は、令和元年5月、京成菅野駅南側の国道14号線沿いに開業いたしました。

診療科は、脳神経内科、総合内科、放射線科です。脳神経内科としては、脳梗塞やパーキンソン病、認知症、てんかんや頭痛、めまい、手足の痛みやしびれなど、脳や神経が原因となる疾患を対象としています。

また、総合内科としては、高血圧、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症などの生活習慣病や加齢に伴う疾病も診療させていただいております。そして、放射線科としては、一般撮影によるX線診断と頭部、胸部、腹部などのCT診断を行っています。

また、諸種の検査、治療を行っています。神経伝導検査、ホルター心電図、ボツリヌス治療、睡眠時無呼吸症候群の検査・治療、群発頭痛の在宅自己注射・酸素療法、禁煙外来などです。近々、脳波計の導入を予定しています。その他、各種健康診断、予防接種を実施しています。



当院が、地域に根ざす医療を実践するためには、どうしても近隣の高度専門医療を行っている総合病院との連携が欠かせません。幸い近くにある国立国際医療研究センター国府台病院には、地域医療連携施設に登録させていただいておりますので、非常に心強く感じております。脳神経内科や脳神経外科の先生のみならず、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科などの専門医の先生方には、日ごろから大変お世話になっており、感謝しています。

今後も、病診連携を通して地域医療に貢献できるように心掛けていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

診療科目	脳神経内科 内科 放射線科
住所	〒272-0031 千葉県市川市平田2-7-2
アクセス	京成本線「菅野駅」徒歩3分 都営新宿線JR「本八幡駅」徒歩9分 JR「本八幡駅」徒歩11分 JR「市川駅」徒歩14分
駐車場	9台
電話番号	047-325-7500

外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	×
14:30~18:00	○	○	○	○	○	×	×

※木・金は17:00までになります。



秋まつりごっこ



9月11日の保育中に感染防止対策を行いながら、子ども達と職員で開催しました!!

例年なら、保護者や卒所児も交えて大々的に行っていた『秋祭り』ですが、今年はコロナの影響により縮小です...

当日は、色とりどりのお祭り衣装に身を包み登所。お互いに衣装を見せっこする姿があらこちらで。

内容もちょっぴり変えて、各クラスお神輿を作り庭を練り歩き～輪投げや射的・ヨーヨー釣りなど、お祭り



ならではのゲームで遊び、昼食は出店でお買い物。

「なんかいい匂いがするね～」 「わーたこ焼きもある～」と出店には長蛇の列。

規模は小さくなってしまいましたが、いつもと違う雰囲気子ども達は大喜びでした。

コロナの影響で行事が軒並み中止・

縮小になる中、子ども達の楽しそうなキラキラした笑顔が見られ、とてもほっこりする1日でした。



院内学級 新校舎完成

教頭 森下 恭英

市川市立国府台小学校、市川市立第一中学校の院内学級は、9月23日（水）から、新校舎に移転しました。

新校舎は、今年の3月に着工し、コロナ過でも作業を進めていただき、9月に完成しました。今までの校舎は平屋でしたが、2階建てとなり、教室の数も増えました。

また、校庭や体育館、理科家庭科室なども設置されています。平成元年から使っていた校舎に別れを告げるのは、寂しい気持ちもありましたが、今は気持ちを切り替え、きれいな校舎で学習に取り組んでいます。

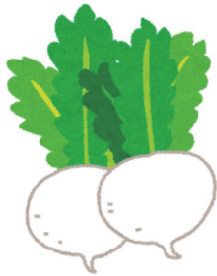
現在、院内学級には国府台小学校の5名、第一中学校の39名が在籍しています。初めて新校舎に来た時には、「とてもきれい。」「体育館や校庭があつてうれしい。」など、前向きな感想がたくさん聞かれました。

教職員と、児童生徒と力を合わせ、感謝の気持ちを忘れず、充実した生活を送っていきたいと思います。よろしくお願ひします。





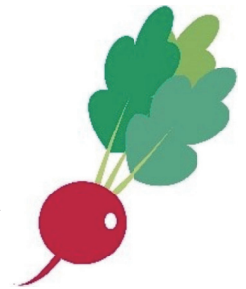
今回のテーマ ～蕪について～



日に日に秋の深まりを感じる季節になってまいりました。風邪など引きやすい季節になりますので、体調管理・感染管理には十分にご注意下さい。

今回のテーマは、これからの時期に美味しい野菜の一つである「蕪」についてです。蕪は3月～5月、10月～12月が旬の時期で、国府台病院のある千葉県は蕪の産地でもあります。原産地はアフガニスタン付近の中央アジアか地中海沿岸ではないかと言われており、日本では古くから栽培されてきました。各地の気候や風土に合うように変異をし、京都の聖護院かぶなど全国に様々な色や形をした品種が栽培されています。

白い実の部分には、消化酵素のジアスターゼが含まれているため、胃もたれなどに効果があると言われていています。ジアスターゼは熱に弱く、白い実の部分は生で食べるのがお勧めです。一方、葉の部分にはβ-カロテン、ビタミンB₁、B₂、C、カルシウムなどが豊富に含まれています。β-カロテンは油と一緒に摂取すると吸収率が上がるため、油炒めなどの調理方法がお勧めです。葉をつけたままにしておくと、水分が奪われてしまうので、実と葉を切り分けて、別々に保管すると良いでしょう。



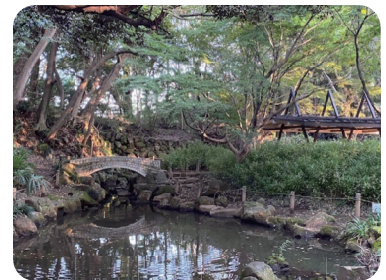
編集だより

今回の表紙：里見公園の紅葉

編集部

桜やバラで有名な里見公園ですが、紅葉も見ることができます。品種によってはバラも咲いており、タイミングが良ければ、もみじ、いちょう、バラを一度に楽しむことのできる珍しい公園です。一部の箇所では、もみじといちょうを同時に見ることができ、赤と黄色のコントラストがとても美しいです。

江戸川沿いにあり、公園内は遊具も充実しているので、息抜きの散歩や子供を遊ばせにお越しいただければいかがでしょうか。



外 来 診 療 担 当 医 師 一 覧 表

国立研究開発法人
国立国際医療研究センター国府台病院
TEL 047-372-3501
令和2年11月1日 現在

※2020年4月より精神科初診外来は予約制といたします。

診療科・曜日	月	火	水	木	金		
※14 ※2 ※9 内科	総合内科	増井 良則(総合) 近藤 悠介	津田 尚法(総合) 足立 洋希(総合)	勝山 修行(総合) 飯田 さくら(総合) 山地 実紗(総合)	三浦 曉彦(総合) 田中 真(総合)【第3】 吉原 ゆかり(総合)	田口 真帆(総合) 酒匂 赤人(総合)	
	呼吸器内科	大藤 貴(呼吸器) 放生 雅章(呼吸器)【第2】 飯倉 元保(呼吸器)【第3】	休診	佐藤 輝彦(呼吸器)	休診	佐藤 輝彦(呼吸器)(午前)	
	血液内科	休診	中村 文彦(血液内科) 【第1/3】(午後)(予約のみ)	休診	休診	休診	
	感染症内科	菊池 嘉(感染症)【第4】(午前)	休診	休診	矢崎 博久(感染症)午前のみ	休診	
	糖尿病・内分泌代謝内科	柳内 秀勝(糖尿・内分泌) 森山 純江(糖尿・内分泌) フットケア外来(糖尿・内分泌)	箱島 真理子(糖尿・内分泌) フットケア外来(糖尿・内分泌) 勝山 修行(糖尿・内分泌)	川口 明子(糖尿・内分泌) フットケア外来(糖尿・内分泌) 田口 真帆(糖尿・内分泌)	柳内 秀勝(糖尿・内分泌) 勝山 修行(糖尿・内分泌) フットケア外来(糖尿・内分泌)	足立 洋希(糖尿・内分泌) 近藤 悠介(糖尿・内分泌) 三島 修一(糖尿・内分泌) フットケア外来(糖尿・内分泌)	
	リウマチ・膠原病科	猪熊 茂子(リウマチ・膠原病)	菱沼 留加(リウマチ・膠原病)	増井 良則(リウマチ・膠原病) 杉本 崇行(リウマチ・膠原病)	吉川 玲歌(リウマチ・膠原病)【第1/3】 当番医師(リウマチ・膠原病)	津田 尚法(リウマチ・膠原病)	
	腎臓内科	狩野 俊和(腎臓)	狩野 俊和(リウマチ・膠原病・腎臓)	休診	休診	狩野 俊和(リウマチ・膠原病・腎臓)	
	消化器内科	矢田 智之 上村 直実	八木 豊一 酒匂 赤人	池上 友梨佳 渡邊 亮	矢田 智之 交代制	関根 一智 山中 将弘	
	肝臓内科	青木 孝彦	濱上 雅史 青木 孝彦	考藤 達哉 是永 匡紹	今村 雅俊	今村 雅俊 是永 匡紹	
	循環器内科	三友 悟(午前)	上村 宗弘(午前)	黄 文恵(午前)	岡崎 修【第1/2/3】 上村 宗弘【第4】	小林 貴(午前/午後)	
※3 心療内科 (初診予約制)	初診	藤本 晃嗣(午前)		河合 啓介(午前)	田村 奈穂(午前)		
	再診	辻 裕美 富田 吉敏【第4午前】 河合 啓介【第2/4午後】	藤本 晃嗣 田村 奈穂 河合 啓介	小西 恵 町澤 理子 石戸 澤一【第1/3/5】	藤本 晃嗣	田村 奈穂	
※4 ※5 ※15 外科	脳神経内科	竹内 壮介	後藤(初診・予約外) 竹内(予約再診)	竹内 壮介		竹内 壮介	
	外科	熊澤 慶吾	清水 篤志	小野 英哉斗 青柳 信嘉(エコー) 青柳 信嘉(内視鏡)【第1・3】	青柳 信嘉 遠藤 大昌(AMエコー) 熊澤 慶吾(AMエコー) 清水 篤志(AMエコー)	遠藤 大昌	
	消化器外科	熊澤 慶吾	清水 篤志	小野 英哉斗	青柳 信嘉	遠藤 大昌	
	肝臓・胆嚢・膵臓外科	熊澤 慶吾	清水 篤志	小野 英哉斗	青柳 信嘉	遠藤 大昌	
	乳腺外科	熊澤 慶吾	清水 篤志	小野 英哉斗	青柳 信嘉	遠藤 大昌	
	ヘルニア外来	熊澤 慶吾	清水 篤志	小野 英哉斗	青柳 信嘉	遠藤 大昌	
	スキンケア外来(完全予約制)	熊澤 慶吾	清水 篤志	小野 英哉斗	青柳 信嘉	遠藤 大昌	
	脳神経外科	一之瀬 大輔	梶原 一輝	交代制	梶原 一輝	一之瀬 大輔	
	脳血管内治療外来	梶原 一輝(10時~)			梶原 一輝		
	整形外科	初診 新井 元	広岡 拓也	柿沼 康平 中川 量介 新井 元	藤本 和輝 柿沼 康平 新井 元	新井 元 藤本 和輝	
皮膚科	佐久間 正寛	佐久間 正寛	佐久間 正寛	佐久間 正寛	佐久間 正寛		
泌尿器科	深野 雅子 交代制【第4】	荒木 沙織	長濱 克志	長濱 克志	荒木 沙織 片岡 円(午前)		
婦人科	川口 安珠(第2/4)	休診	休診	是澤 光彦	休診		
眼科	初診 板倉 優佳 山崎 廣子	板倉 優佳 柴 玉珠	山崎 廣子	藤本 尚也	大原 むつ 柴 玉珠		
養護外来		板倉 優佳 柴 玉珠	山崎 廣子(午後)		大原 むつ 柴 玉珠		
※10 ※11 ※12 ※13 耳鼻いんこう科	1診	渡邊 荘	野坂 瞳	渡邊 荘	丸山 大輔	齊藤 吉紀	
	** 2診	丸山 大輔		原 治(予約外)	渡邊 荘(第2/4)(予約再診)		
	1診(予約)	渡邊 荘(第2/4)		渡邊 荘	丸山 大輔		
	** 2診(予約)	丸山 大輔	原 治	原 治	原 治	原 治	
	補聴器	渡邊 荘 丸山 大輔		渡邊 荘 原 治	渡邊 荘 原 治		
	舌下免疫初回	渡邊 荘 丸山 大輔		渡邊 荘 原 治	丸山 大輔		
	医療連携	渡邊 荘 丸山 大輔		渡邊 荘	丸山 大輔		
	麻酔科・ペインクリニック	東 俊晴(午後・再診のみ) 木村 麻衣子(午後・再診のみ) 西岡 慧(午後・再診のみ)	休診	木村 麻衣子(午前) 西岡 慧(午前)	休診	東 俊晴(午前)	
	心臓血管外科	秋田 作夢	秋田 作夢	休診	休診	秋田 作夢	
	ベースメーカー外来	休診	休診	申 範圭(午後)【第3】	休診	休診	
救急科	佐藤 琢紀 長島 彩子	佐藤 琢紀 長島 彩子	佐藤 琢紀 長島 彩子	佐藤 琢紀 長島 彩子	佐藤 琢紀 長島 彩子		
※6 精神科	初診	金井 重儀 中野 知恵子	網干 千春 畑田 恵美 鶴重 順康	竹内 悠 草西 俊		近藤 忠之 七澤 英毅	
	再診	① 診 草西 俊 ② 診 伊藤 寿彦 ③ 診 早川 達郎 ④ 診 鶴重 順康 ⑤ 診 鶴重 順康 ⑥ 診 竹内 悠 ⑦ 診 竹内 悠	榎本 哲郎 草西 俊 近藤 忠之 早川 達郎 伊藤 寿彦 鶴重 順康 竹内 悠	榎本 哲郎 草西 俊 中野 知恵子 早川 達郎 伊藤 寿彦 鶴重 順康 榎本 哲郎	草西 俊 中野 知恵子 中野 知恵子 鶴重 順康 榎本 哲郎	藤井 和代 中野 知恵子 伊藤 寿彦 竹内 悠	近藤 忠之 七澤 英毅 金井 重儀
	特診(予約制)	精神科予診	精神科予診	榎本 哲郎			
	睡眠障害専門外来 (完全予約制)				精神科予約(午前) 齊藤 裕子(②診)	早川 達郎(⑥診)	
	※7 児童精神科	宇佐美 政英 箱島 有輝 吉村 裕太 稲崎 久美	宇佐美 政英 箱島 有輝 吉村 裕太 稲崎 久美	宇佐美 政英 吉村 裕太 稲崎 久美	宇佐美 政英 吉村 裕太	宇佐美 政英 箱島 有輝 吉村 裕太	
	放射線科	放射線診断 待鳥 詔洋 宮田 陽子	待鳥 詔洋 宮田 陽子(午前のみ)	待鳥 詔洋 宮田 陽子	待鳥 詔洋 宮田 陽子	待鳥 詔洋	
	※8 歯科	初診(予約制) 再診(予約制)	友田 衣早佳	友田 衣早佳 安田 早芳	友田 衣早佳 安田 早芳	友田 衣早佳 安田 早芳	

(注)1. 外科及び整形外科の担当医は、手術などの都合で変更(交替)になる場合があります。

変更箇所

* 初診受付時間: 8時00分~11時00分 * 再診受付時間: 8時00分~11時00分

- ※1 感染症内科を受診される方は事前に感染症内科医へご相談ください。(平日のみ。水曜日は除く。)
- ※2 フットケア外来は完全予約制です。糖尿病内分泌科外来にて受け付けます。
- ※3 心療内科: 翌月の初診予約を毎月1日(土日祝は最初の平日)の14時から15時の間に電話にて受け付けます。心療内科外来に半年以上来院していない場合は、再診ではなく初診となります。
- ※4 神経内科: 予約なくとも水曜日の11時迄受付
- ※5 外科: スキンケア外来は完全予約制で外科外来窓口にて受け付けます。(第2.4.5 木曜日・第1.3金曜日)
- ※6 精神科: 初診は予約制です。(電話予約受付時間は月・火・水・木(金のぞく)の13時~15時迄、又は平日精神科外来窓口にて受け付けます。)
- ※7 児童精神科: 初診予約受付は電話のみ。受付時間は水曜日10時~12時迄受け付けています。
- ※8 歯科外来: 予約制です。電話受付時間は平日16~17時 歯科外来にて受診します。
- ※9 リウマチ・膠原病科: 不明熱外来を水曜日・木曜日の午前中に開いております。完全予約制で受診には診療情報提供書(紹介状)が必要となります。
- ※10 耳鼻いんこう科: 予約外一週当割振りとなり原則として医師のリクエストは不可です。紹介状・他科依頼について一宛名のあるものは当該医師の診察、それ以外は適宜割振りになります。
- ※11 耳鼻いんこう科: 火曜日の午後は急患、紹介患者、他科依頼のみの対応となります。
- ※12 補聴器・舌下免疫療法初回については、一般の外来で診察および検査を行ってから予約を取ります。
- ※13 紹介元の医療機関から地域医療連携室宛に診療情報提供書をFAXでお送りください。
- ※14 血液内科: 初診は予約制となります。前日までに予約をお取りください。予約は内科外来窓口にて受け付けます。
- ※15 整形外科: 火曜日の初診は完全予約制となっております。電話受付時間は平日15~17時まで、又は平日整形外科外来窓口にて受け付けます。

国府台病院(代表)
Tel. 047-372-3501